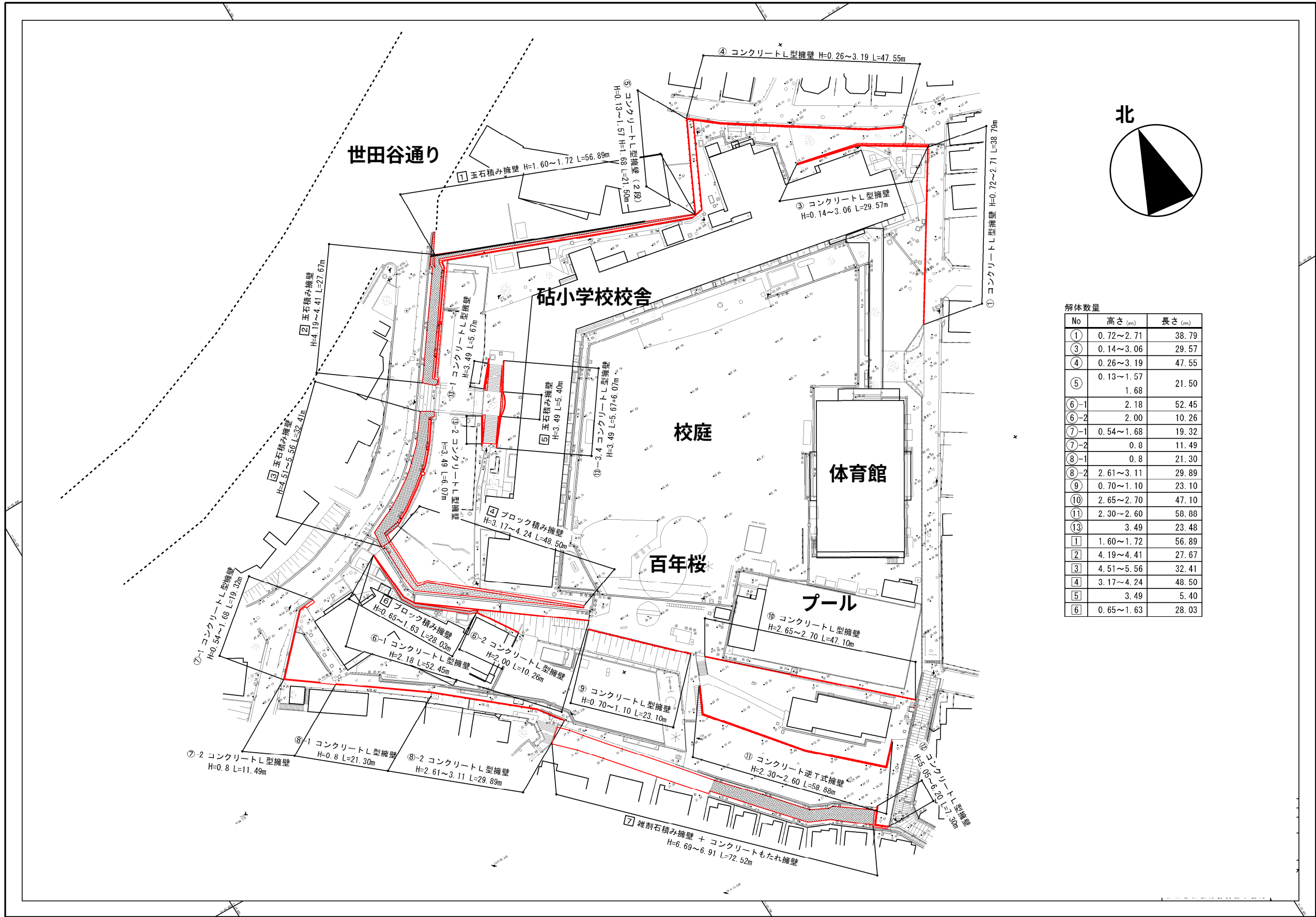


砧小学校・砧幼稚園 既存校舎配置図



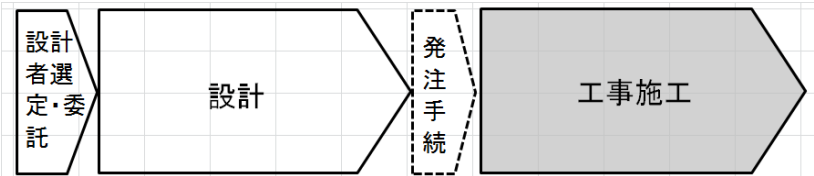
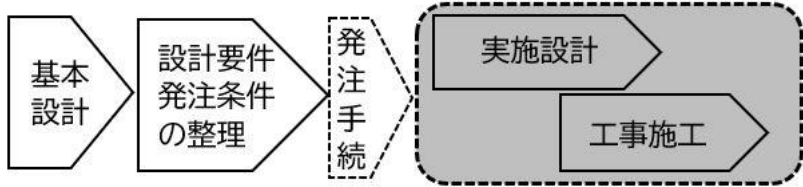
解体数量		
No	高さ (m)	長さ (m)
①	0.72~2.71	38.79
③	0.14~3.06	29.57
④	0.26~3.19	47.55
⑤	0.13~1.57 1.68	21.50
⑥-1	2.18	52.45
⑥-2	2.00	10.26
⑦-1	0.54~1.68	19.32
⑦-2	0.8	11.49
⑧-1	0.8	21.30
⑧-2	2.61~3.11	29.89
⑨	0.70~1.10	23.10
⑩	2.65~2.70	47.10
⑪	2.30~2.60	58.88
⑬	3.49	23.48
⑰	1.60~1.72	56.89
⑲	4.19~4.41	27.67
㉓	4.51~5.56	32.41
㉔	3.17~4.24	48.50
㉕	3.49	5.40
㉖	0.65~1.63	28.03

○ 設計・工事の発注手法について

世田谷区では、従来から設計施工分離発注方式を採用し、設計を行った後に、入札により工事事業者を選定し、建設工事を実施してきた。

砧小学校・砧幼稚園の改築では、土砂災害特別警戒区域に指定されるなどの施工難易度の高い敷地条件から、特に、工事中の確実な安全確保や長期化が想定される工事期間の短縮を図るため、実施設計段階から土木・建築技術を兼ね備えた建設事業者の参画が必要と考えている。

＜発注方式に関する比較＞

	設計施工分離発注方式（従来方式）	基本設計先行 DB 方式（実施設計・施工）
内容	設計と工事施工を分離して発注する方式 	実施設計と工事施工を一括して発注する方式 
安全性の高い工事の実施	標準的な汎用性のある設計内容での工事発注となるため、施工業者が有する <u>独自の技術や特許・工法等を採用しにくい。</u>	実施設計段階から施工業者のもつ <u>独自の技術や工法等を反映することが可能</u> となり、 <u>安全かつ合理的な施工方法を実現しやすい。</u>
工期短縮	施工業者の独自の技術力やノウハウを設計段階から活用することが困難なため、 <u>工期短縮の可能性は限定的になる。</u>	施工業者の独自の技術力やノウハウを設計段階から活用することが可能であり、設計と並行して工事の発注が可能であるため、 <u>工期短縮の可能性が高い。</u>
経費抑制	施工業者の独自の技術等を採用することが困難なため、 <u>経費の抑制は限定的になる。</u>	設計仕様や施工方法等に施工業者の持つ独自の技術を採用することにより <u>経費の抑制が期待できる。</u>
設計への要望の反映	<u>設計（基本設計・実施設計）プロセスを通して関係者の要望を設計内容に反映しやすい。</u>	設計前に発注条件を明確化する必要があるため、 <u>従来方式と比較すると発注後は関係者の要望を設計内容に反映しづらい。</u>